

パオちゃん's EYE

2018年9月1日発行 No.18

しゅうがた 雌雄型のカブトムシ

2018年6月、倉敷市内在住の遠藤智恵子さんから、「子どもが飼っている自宅で羽化したカブトムシの中に雌雄型かもしれないカブトムシがいる」とお電話をいただきました。雌雄型（雌雄モザイク）は、1匹の虫の中に雄の部分と雌の部分をあわせ持つ大変珍しい異常型です。このような問い合わせは、ときどきあるのですが、実物を調べてみるとけがによる変形のことが多いです。

遠藤さんがお子さんと一緒に持ってこられたカブトムシをじっくり調べてみると、次のようなことがわかりました。

- ・頭部には、左に寄った短い角があり、表面は左側がなめらか、右側が粗目状、触角第1節は左側では前面に毛がなく、右側では前面に毛がある。
- ・前胸部には、背面中央に角状突起があるが、先端は右寄りで割れず、表面は左側では全面なめらか、右側では粗目状で部分的になめらか。

- ・前ばね（さやばね）は左側はつやがあり、右側はつや消しでピロウド状の毛で覆われる。
- ・3対のあしは左側が細長く（特に前あし）、右側は短くがっしりしている。

以上の特徴から、体のまん中からおおむね左側に雄、右側に雌の特徴が現れた雌雄型であることがわかりました。ただし、右側の前胸部のようにモザイク状に雄と雌の特徴が混ざっているところもあります。

このカブトムシは、死後、博物館に寄贈され、9月1日から11月3日まで第3展示室「昆虫の世界」の「話題の虫」コーナーで標本を展示公開しています。2006年に寄贈されたもうひとつの雌雄型のカブトムシの標本もあわせて展示しています。

奥島雄一（昆虫担当）



雌雄型のカブトムシ。

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

